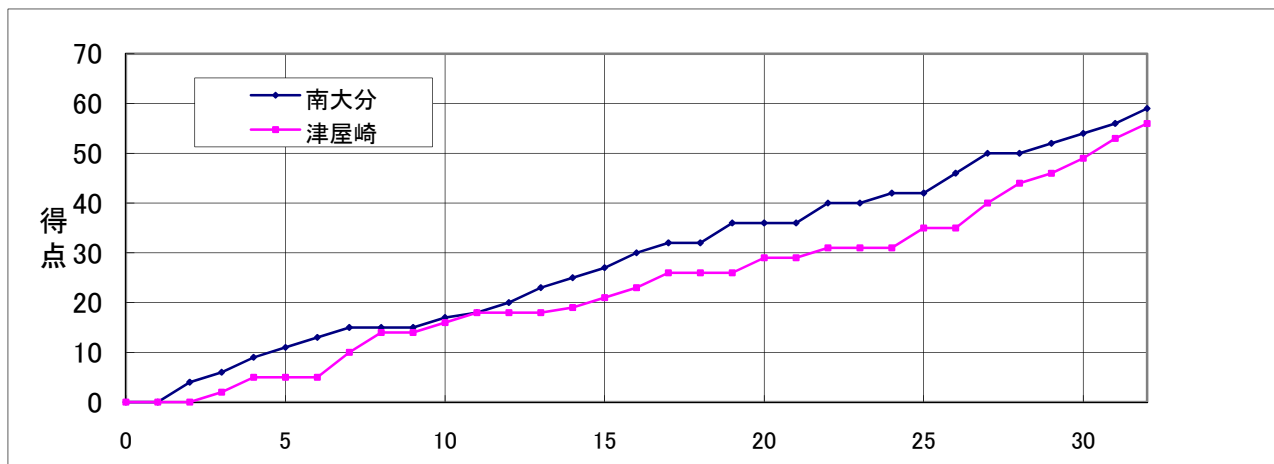


大会名	平成22年度 九州中学校体育大会 第40回九州中学校バスケットボール競技大会	C4	14:00	女子1回戦																
	期日	2010年(平成22年)8月6日(金)	南大分 59 (大分1位) ○	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>9</td></tr> <tr><td>12</td><td>—</td><td>8</td></tr> <tr><td>17</td><td>—</td><td>25</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	15	—	14	15	—	9	12	—	8	17	—	25	—	—	—	56 津屋崎 ● (福岡2位)
					15	—	14													
15	—	9																		
12	—	8																		
17	—	25																		
—	—	—																		
会場	大分市コンパルホール																			

主審 豆塚 宣男 副審 大見 謝匡



タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q		OT1	OT2
09:38	—	27:41 30:50	—	—

南大分

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 足立 結唯 (C)	10	0	3	4	2
5	* 後藤 優	16	0	7	2	2
6	* 芳山 愛実	0	0	0	0	5
7	* 井上 春佳	23	0	11	1	2
8	平迫 蒼	—	—	—	—	—
9	近藤 有紗	—	—	—	—	—
10	瀬山 楓	0	0	0	0	1
11	* 毛利 葉月	10	0	5	0	3
12	後藤 優飛	—	—	—	—	—
13	吉田 真弓	—	—	—	—	—
14	児玉 樹里	—	—	—	—	—
15	藤柴 愛	—	—	—	—	—
16	下高 美咲	0	0	0	0	0
17	八尋 加那子	—	—	—	—	—
18	村上 由華	—	—	—	—	—
コーチ	瀬山 英則	—	—	—	—	—
合計		59	0	26	7	15

タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q		OT1	OT2
15:37	—	20:50 31:25	—	—

津屋崎

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4						
5	渡邊 由依菜	0	0	0	0	0
6	米倉 千晴	—	—	—	—	—
7	* 中村 美仁	5	1	1	0	4
8	* 瀬戸 あかね	5	0	1	3	4
9						
10	大賀 夕起野	—	—	—	—	—
11						
12	* 北阪 優奈 (C)	0	0	0	0	0
13	菊地 望海	—	—	—	—	—
14	* 西 幹菜	16	4	2	0	3
15	貫 方菜子	—	—	—	—	—
16	* 渡邊 絵里加	30	0	10	10	3
17	赤間 しおり	—	—	—	—	—
18						
コーチ	山田 加代子	—	—	—	—	—
合計		56	5	14	13	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

1Q、両チームともにマンツーマンで立ち上がる。双方速い展開でゲームの流れをつかもうとする中、南大分#5後藤、#11毛利のミドルシュート、#7井上のリバウンドシュートで得点をあげる。対する津屋崎は#7中村、#16渡邊のドライブ、#14西の3Pで応戦。南大分はバスケットからの速攻で主導権を握ろうとするが、津屋崎も譲らないうちに南大分1点のリードで終了。

2Q、開始から両チームとも果敢に攻めるものの相手のディフェンスに阻まれミスを繰り返し、一進一退の攻防となる。膠着状態のまま南大分がタイムアウトをとり、守りをゾーンに切り替える。その後、バスケットからの速攻や、#7井上のリバウンドシュートでリズムをつかみ津屋崎を引き離しにかかる。一方、津屋崎はメンバーチェンジを足がかりに#16渡邊を起点にしたオフェンスで粘り、30-23の南大分リードで前半を終える。

3Q、両チームとも2-1-2のゾーンディフェンスでスタートする。南大分は#7井上、#11毛利のインサイドを中心に津屋崎のゾーンを攻める。一方、津屋崎はリバウンドからの速攻と#14西の3Pで南大分のゾーンを攻める。42-31でゴール下を制した南大分がやや優勢のまま終了する。

4Q、津屋崎は守りをオールコートマンツーマンに変え、南大分にプレッシャーをかけてくる。津屋崎#7中村、#14西がボールを奪い速攻につなげ、徐々に点差を縮めていった。残り4分で6点差となったところで南大分がたまたまタイムアウトをとる。しかし、津屋崎の勢いは止まらず、残り2分30秒#14西の3Pで3点差までつめる。そして、残り1分、3点差のまま南大分2回目のタイムアウトをとる。残り30秒、南大分#7井上のポストプレーが決まり再び5点差となる。最後の力を振り絞る津屋崎#7中村の3Pも一歩及ばず59-56で南大分が接戦を制した。最後まで足を止めることなくスピードあるプレーを見せてくれた津屋崎にさすがさを感じた好ゲームであった。

記事者 岸原, 日名子 (所属) 大分県バスケットボール協会